

札幌ドームの指定管理者の選定結果について

1 選定委員会開催経過

第1回 令和4年7月14日 募集要項、選定基準、選定方法等について

第2回 令和4年10月27日 書類審査、面接審査、選定

2 選定委員会委員

委員7名（市職員1人、外部委員6人）

委員長 石澤 伸弘 北海道教育大学札幌校保健体育教育分野教授

副委員 佐藤 裕則 北海道新聞社企画室スポーツ戦略本部長

委員 千葉 崇晶 公認会計士

委員 田畑 正幸 社会保険労務士

委員 和泉 明一 札幌市中学校体育連盟会長

委員 伊藤 みき 北海道オール・オリンピアンズ(元女子フリースタイルスキー・モーグル日本代表)

委員 佐藤 美賀 スポーツ局スポーツ部長

3 応募団体

団体名：株式会社札幌ドーム

非公募により応募を求めた理由：別紙のとおり

4 選定結果（指定管理者候補者）

(1) 選定された団体

株式会社札幌ドーム 代表取締役社長 山川 広行

札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

(2) 選定の理由

株式会社札幌ドームは、札幌ドームの管理運営業務における各要求水準を満たしており、利用促進が図られる計画や有効かつ具体的なソフト事業の計画について評価を得た。

利用料収入の増加策や施設内の飲食スペースの魅力向上、障がいのある方の利用環境の向上に向けた取り組みについては、より一層の創意工夫や改善が求められる旨の意見があったが、これまでの施設の管理運営が良好で、安定した管理運営を担える組織体制が評価された。

さらに、自主事業として飲食や広告事業等を実施し、当該事業において得られた利益を施設設備の改修工事等の形で還元するとの提案もあった。

以上の点から、札幌ドームの設置目的を効果的に達成するために、株式会社札幌ドームは指定管理者の候補として適切であると判断された。

(3) 評価結果

選定基準	配点	候補者
平等利用の確保	50点	30点
施設の効用発揮	450点	211点
安定経営能力	200点	197点
管理経費の縮減	150点	55点
その他	150点	120点
合計	1,000点	613点
得点率		61.3%

(4) 指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日の予定

5 その他

令和4年第4回定例会市議会において、公の施設の指定管理者の指定の件について議案を提出する予定。

スポーツ局スポーツ部施設課 011-211-3045

別紙

札幌ドームを非公募とする理由

株式会社札幌ドームは、平成 13 年の札幌ドーム開業時から施設の管理運営を行っており、経営面においても安定した経営を継続している。また、積極的な改良工事を行うなど来場者サービスの向上に努めており、施設の良い管理が行われている。

また、札幌ドームはプロサッカーを始め、ラグビーワールドカップ 2019 大会や東京 2020 オリンピック競技大会におけるサッカー競技などの国際スポーツ大会、コンサート、展示会その他の催物に多目的に使用されている。このような国際大会や大規模イベント等においては、主催者等から大会運営上の様々な要望がなされることがあり、その際には迅速かつ適切な対応が求められる。これらの施設利用者との継続的な関係を構築しており、施設管理運営においても長期的な経験により蓄積された知識・ノウハウを有する同社の存在が不可欠である。

さらに、同社は、札幌ドームという公の施設では他に類を見ない大規模な施設を経営するために、本市のほか、民間企業の出資により設立した株式会社であり、設立当初に民間企業からの人材派遣等を受けるなど、札幌ドーム運営のための様々なノウハウを蓄積しており、指定管理を行う団体と施設の関係は密接不可分である。

加えて、同社は、本市が出資する第 3 セクターとして、長期継続的な視野をもって事業運営を行っているほか、自主事業による収益から積極的に本市に利益還元を行っており、本市としても、長期的な視野を持って札幌ドームを維持していく上で、札幌ドームの指定管理者に対し継続的・積極的に関与する必要がある。

以上のことから、札幌ドームの指定管理者について非公募とし、現在の指定管理者である株式会社札幌ドームに申込みを求めた。